

所沢税務署管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞

税の仕組み

藤沢中学校 三年 齋藤 脩斗

僕たちは生活している中で税金を納めています。その税金がどのように使われているのかを私は知らなかったので調べてみると、様々な場面で活躍していることが分かりました。

例えば、国民すべてが平等に教育を受けられるように、教育費には多くの税金が使われています。私たちが学校で使っている教科書や机、いすの購入、校舎の建設や修理も、多くの人が納めた税金によりまかなわれています。私たちが勉強をすることができているのは税金のおかげだと改めて感じました。

また、住民の安全を守るために、犯罪の防止や社会の安全と秩序の維持など、私たちの生命・身体・財産を守ってくれる仕事にも使われています。このため、火事や事故の際には、消防車や救急車、警察官がすぐに駆けつけてくれます。

この2つなどのことよりも身近に存在している税は消費税です。まず、消費税とは何かというと事業者が販売する商品やサービスなどの価格に上乗せられて広く課税される税のことです。消費税といえば一九八九年の三％から時をかけて今現在では十％まで増税されてきました。なぜこのように税金が増税されるのかというと社会保障の財源確保のためです。日本では少子高齢化が進んでおり社会保障の財源確保は大きな課題となっていました。なので、税金の徴収

をするためには消費税は必要不可欠なのです。

まだたくさん税金が使われている場面などがありますが、どのような場面で税金が使われていたとしても一つ言えることがあります。それは、私たち人間が安定した生活を送るために必ず必要なことであるということです。私たち中学生は、まだ税金を納める場面は消費税だけだと思うのでしっかり理解を深めたいです。

税金は、みんなが安心してくらすためにとても必要なことだというのが分かりました。特に中学生の私たちにとってはとても大切な税金です。もし、税金が無い世の中だったら教育を受けることができていないかもしれません。その教育に必要な費用を国民の税金で払ってくれています。そうすることで個人負担を減らしてくれています。しかし、その税金についてまだ国民全員が理解していない部分があると思います。国民一人一人が「税金」という言葉に耳をかたむける必要があると思います。興味を持つことが一番大切です。そして、将来深く税金と関わっていききたいです。